

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2006-64964(P2006-64964A)
 【公開日】平成18年3月9日(2006.3.9)
 【年通号数】公開・登録公報2006-010
 【出願番号】特願2004-246842(P2004-246842)
 【国際特許分類】

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

H 0 4 N 5/66 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/20 6 5 0 E

G 0 9 G 3/20 6 1 1 A

G 0 9 G 3/20 6 1 2 T

G 0 9 G 3/20 6 1 2 U

G 0 9 G 3/20 6 2 1 K

G 0 9 G 3/20 6 2 2 N

G 0 9 G 3/20 6 2 2 R

G 0 9 G 3/20 6 6 0 U

G 0 9 G 3/20 6 6 0 V

G 0 9 G 3/36

H 0 4 N 5/66 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月24日(2007.7.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、上記のような問題点に鑑みて成されたもので、その目的は、画質を低下させることなく、低消費電力化を実現する平面表示装置およびその駆動方法を提供することである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

図8は、2ライン毎に走査線を間引いて走査し、3フレームで1画像を構成する場合のタイミングチャートである。図9は、図8のように走査線が走査された場合の一表示例である。例えばnフレーム目は、1ライン目、4ライン目、・・・の順に、走査線を2ライン毎に間引いて走査されている。次のn+1フレームでは、2ライン目、5ライン目、・・・の順に、前のフレームで走査された走査線の次のラインが、走査されている。更に次のn+2フレームでは、3ライン目、6ライン目、・・・の順に、n+1フレーム目で走査された走査線の次のラインが走査されている。上記のように走査線をインタレース走査すると、図9に示すようにnフレーム目の表示画面F3には、2ライン毎に間引きされて画

像が表示され、 $n + 1$ フレーム目の表示画面 F 4 には、 n フレーム目の表示画面 F 3 で画像が表示されていた各走査線の、次のラインに画像が表示されている。 $n + 2$ フレーム目の表示画面 F 5 には、 $n + 1$ フレーム目の表示画面 F 4 で画像が表示されていた各走査線の、次のラインに画像が表示されている。このように、F 3、F 4 および F 5 の 3 フレームで 1 画像を構成している。この場合は、送信するデータの時間間隔が大きくなるので、更なる節電効果が期待できる。